

# 3. 地域別構想

## 地域区分

地域別構想では、本市における各地域の位置づけや役割を踏まえながら、それぞれの地域資源や課題を把握し、将来像やまちづくりの方針を設定します。

本市の地域区分については、日常の生活圏や地域活動を考慮し、中学校区を単位として、下館、下館西、下館南、下館北、関城、明野、協和の7区分に設定します。



## 地域別構想

### ■ 下館地区 まちづくり方針図 「筑西の核となり歴史をいかし新たな文化を創造するまちづくり」

#### 【まちづくりの目標】

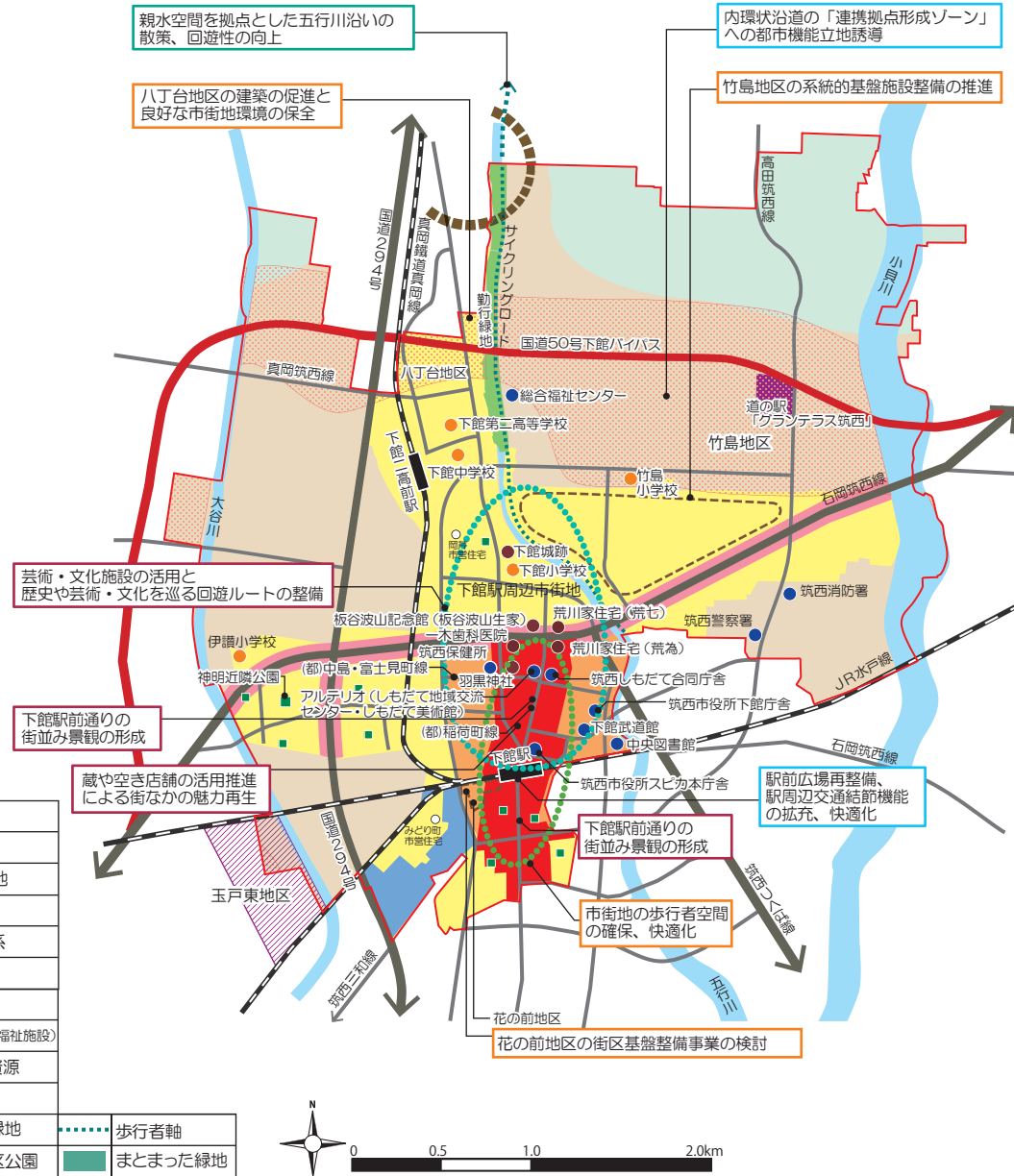
茨城県西地域の拠点都市である本市の中心として、都市機能の充実を図りながら、街なかに既に存在する芸術・文化、歴史、河川・水辺の資源をいかして風格あるまちづくりを進め、市内外から人が集まり新たな魅力を発信する都市拠点の形成を目指します。

#### 【まちづくりの方針】

- ① 多くの人が集まり交流し、誰もが安心して暮らしている街なか環境の形成
- ② 人が集まりやすい交通体系の形成と新たな都市機能の計画的配置
- ③ 歴史や芸術・文化をいかした筑西の魅力づくり
- ④ 河川をいかした潤いのある街なかづくり

#### 【凡例】

■ 広域幹線道路	■ 低密度住宅地	● 歩行者軸
■ 都市内幹線道路 (内環状)	■ 中密度住宅地	■ まとまった緑地
■ 都市内幹線道路 (外環状)	■ 中心商業業務地	
■ その他幹線道路	■ 商業業務地	
■ 鉄道	■ 沿道サービス系	
○ ○ 新たな連携軸	■ 産業系	
■ 産業系 (拡大検討地区)	● 公共施設	
■ 田園と融合した活力導入地区	● 教育施設 (教育福祉施設)	
■ 複合産業系 (検討地区)	● 文化財・歴史資源	
■ 都市田園融合ゾーン	■ 河川	
■ 田園ゾーン	■ 主要な公園・緑地	
■ 連携拠点形成ゾーン	■ 近隣公園・街区公園	



### ■ 下館西地区 まちづくり方針図

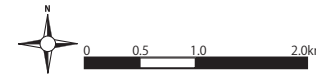
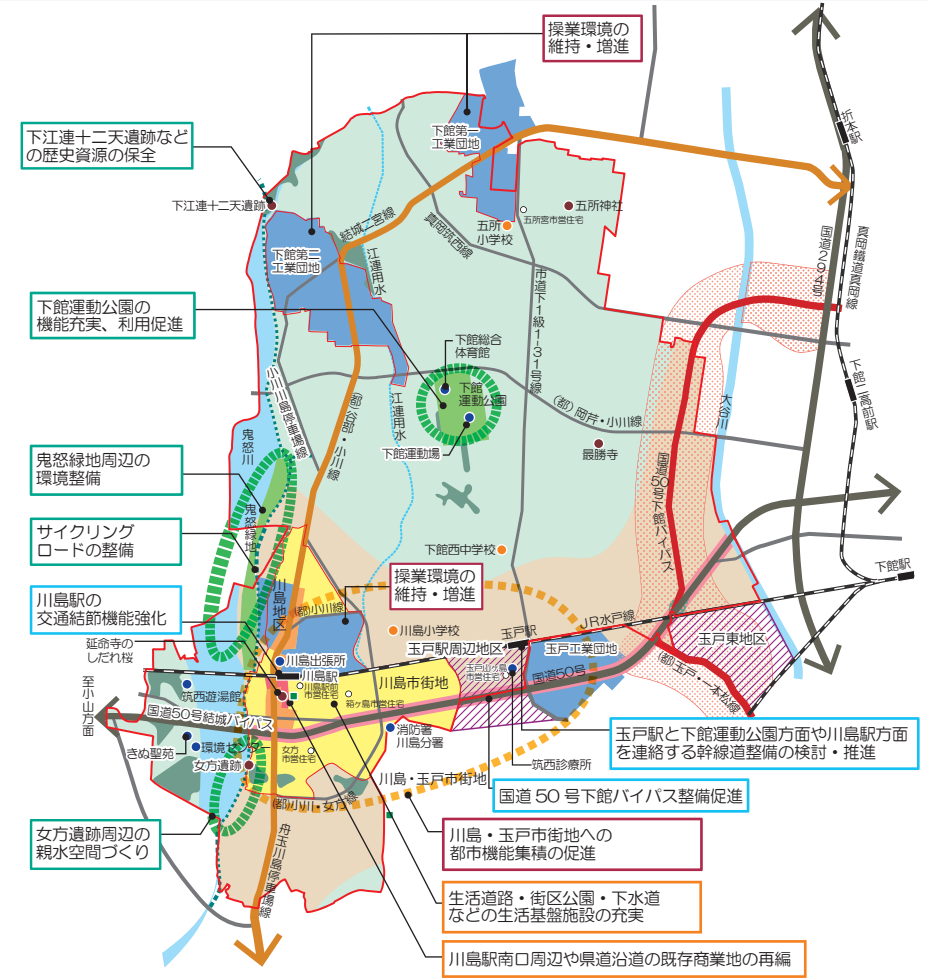
「鬼怒川の環境と交通の利便を守り受け継ぐまちづくり」

#### 【まちづくりの目標】

JR水戸線川島駅周辺、国道50号沿道の川島市街地を中心として、安全・安心な暮らしのための都市機能の充実や、本市の副次的な都市拠点としての産業活力の維持・増進を図るとともに、鬼怒川を中心とした水辺や緑をいかし、交流や触れ合いのある快適な地域づくりを目指します。

#### 【まちづくりの方針】

- ① 地域の生活と生産を支える安全・快適な市街地環境の改善・整備
- ② 副次的な都市拠点としての都市機能集積と既存産業の産業環境の維持・増進
- ③ 地区内の都市機能の利便性や他都市・他地区との連絡・連携を向上する交通体系の構築
- ④ 鬼怒川の水辺や運動公園の緑をいかした快適環境づくり



### ■ 下館南地区 まちづくり方針図

「交通の便をいかし新たな都市の活力と地域の暮らしを築くまちづくり」

#### 【まちづくりの目標】

郊外の快適な暮らしを維持するため、田園環境に配慮しながら居住環境の充実を図ります。また、周辺都市と連携する交通軸を拡充し、小貝川や五行川などの豊富な水辺をいかし、活力と潤いのある地域づくりを目指します。

#### 【まちづくりの方針】

- ① 安全・快適な居住環境づくり
- ② 広域幹線道路整備と沿道の都市機能配置による活力あるまちづくり
- ③ 河川や緑をいかした交流空間の創出
- ④ 街と里が融合する空間づくり

